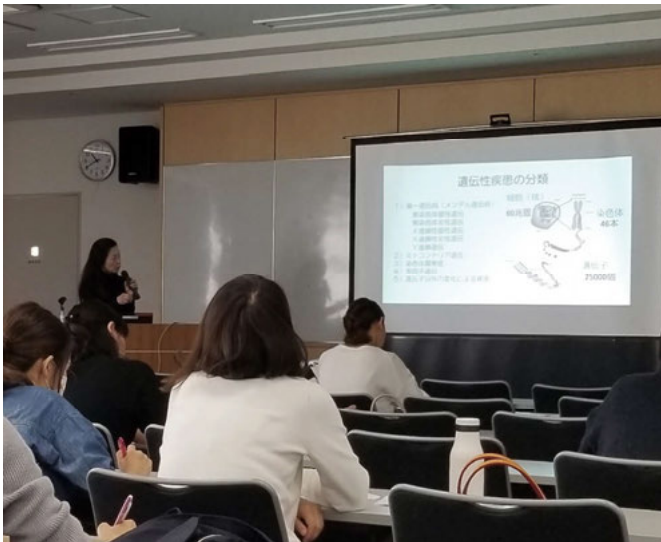




周産期ケアセミナー 出生前診断における継続支援

2019年度



2013年4月に、無侵襲的出生前遺伝学的検査が我が国でも始まり、社会的関心が高まっています。出生前診断技術の向上により、胎児の形態異常の約半数が出生前に診断されています。しかし、出生前診断を受ける夫婦の意思決定のために必要な情報提供を行ったり、胎児の生命予後や子育てに関して介入できる専門職は少なく、助産師や看護師による関わりは重要となっています。

●目的●

最新の出生前診断とその考え方を学び、胎児期から新生児期までの継続した支援や、夫婦（両親）の意思決定を支えられる支援が出来るようになります。

●対象者●

看護職者

●講師●

宮城県立こども病院 室月 淳 先生
大阪医科大学附属病院 宮田 郁 先生
神奈川県立こども医療センター
西川 智子 先生

開催日：未定（2019年8月頃HPへ掲載予定）

会場：未定（2019年8月頃HPへ掲載予定）

定員：25名

参加費用：5,000円

募集期間：未定（2019年8月頃HPへ掲載予定）

※本研修の申込は、巻末のFAX用紙をご利用ください。

※本研修の受講に当たっては、公共交通機関でお越しください。

最新情報はホームページ

<http://www.nrs.kitasato-u.ac.jp/cdrc/> をご参照ください。

北里大学看護キャリア開発・研究センター

〒252-0373

神奈川県相模原市南区北里1-15-1

<http://www.nrs.kitasato-u.ac.jp/cdrc/>

E-mail:koukai@nrs.kitasato-u.ac.jp

FAX:042-778-8254

TEL:042-778-8401/8403